

給食だより

家庭数

さいたま市立東岩槻小学校
令和2年1月16日



学校給食の歴史は古く、明治22年に山形県鶴岡市の私立忠愛小学校でお弁当を持ってくることのできない子どもたちを対象に、おにぎりや焼き魚などの簡単なおかずを出したことが始まりです。子どもたちの栄養補給が第一の目的として始まった学校給食ですが、現在では「健康の保持増進」「人間関係の育成」「マナーの体得」「地域に根ざした給食」など様々な役割を担っています。毎日、給食を作っている調理員さんたちに感謝しながら、楽しい給食の時間を過ごし、心も体も健康にしましょう。

東岩槻小学校では、1月17日に給食委員会による全校集会、17日から23日までを給食週間、さらに24日から30日までを全国学校給食週間ということから、昔の給食と、郷土料理(福島県、埼玉県)を出します。

●誓の給食●

- 第1段目：明治22年(1889年)ごろの給食
…給食が始まったころのこんだてです。
- 第2段目：昭和30年(1955年)ごろの給食
…戦争が終わって食べるものが少なくなってきたころのこんだてです。
今では高価なくじらの肉が安くてよく食べられていました。
- 第3段目：昭和53年(1978年)ごろの給食
…このころからお米の給食が1週間に1回になり、給食でもカレーライスが食べられるようになりました。

●郷土料理●

友好都市である「福島県」と埼玉県の郷土料理を出します。

【1月の給食目標】

感謝して、食べよう



私たちは、生きるために自然界の動物や植物の命をいただいています。また、私たちの手元に食べ物が届くまでには、農家や漁師の方々、畜産業や食品工業、運送業、調理員などたくさんの人たちがかわっています。食事にかかわる食材や調理行為、料理などすべてに対して感謝の気持ちをもって、大切に食事をしましょう。